

## 令和3年度 学校評価表の目標達成のための重点事業(中間評価)

学校評価委員会

部署	関連項目	令和2年度 目標達成のための重点事業	改善点・提言
教務・庶務・防災	10,11	保護者・地域への的確な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定通りの高松だより発行、日々のHP更新、必要に応じたメール配信など、情報提供に心がけることができた。</li> <li>・コロナ感染症対策やJR運休による臨時休業の対応に苦慮し、連絡の徹底、円滑な運営が思うようにすすめられなかった。</li> <li>・コロナ対策に配慮しながら、防災訓練等は計画通り実施した。</li> </ul>
	1,2	組織として円滑な学校運営	
	1,10	職員間での適切な情報の共有の推進	
	2,9	防災訓練の実施と工夫、防災教育の充実	
情報ネットワーク	1,5	情報ネットワークの更新管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BYODが1,2年生でスタートするにあたり校内の指針を作成し、個人情報の取り扱いについて注意喚起を行い、適切なデータ管理をしてもらうように努める。</li> <li>・校内の無線LAN・普通科PC教室の整備が完了しており、使用にあたっての情報の周知を図る必要がある。</li> <li>・既存のICT機器の不具合が多くなっており、保守点検を行うなど故障の予防措置対策を講じる必要がある。</li> </ul>
	4,5	校内LAN・普通科PC教室についての環境整備	
	1,2	個人情報について、適切なデータ管理を徹底する(アクセス制限など)	
	1	職員間の情報共有に関して、イントラの充実をすすめる	
授業計画	5,6	学習効果を高める時間割編成の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特編授業、3年テスト返却もバランスを考慮して計画できた。</li> <li>・科目選択は早くから取り組んだが、クラス数が減少する中での開講科目決定には課題が残った。</li> </ul>
	5,6	考査・特編の計画・実施	
	5,6,7	科目選択及び講座編成の工夫	
進路指導	5,6	進路通信・学年進路通信の発行、模試結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中ではあるが、オンラインを活用しながら、各学年の進路行事・模試の運営や、信州大学説明会、大学模擬講義、医学部医学科合格に向けた講演会等の行事を、ほぼ計画通り進めることができています。</li> <li>・進路通信を時宜に応じて発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図っている。各学年でも、模試・探究学習・学習指導等多岐にわたる内容を進路通信で伝えている。</li> <li>・前年度の入試結果・最新の入試動向などをまとめた資料を、学校評議員会・同窓会・PTA等に提供した。</li> <li>・第2回目となる「大学入学共通テスト」に向けて、適時情報を発信しながら出願・確認作業を進めている。</li> </ul>
	5,6,8	進路情報の提供	
	5,8	進路検討会議の実施	
	1,10	地区懇談会への資料提供	
	7,8	キャリア教育全般	
学習指導	5,6	学習計画の立案と実施 シラバスの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問(小論文、面接用)の需要が増している。市販のものでは不十分なので、受験した生徒の問題冊子を集めるなど対策が必要か。</li> <li>・3年生希望者対象小論文講演会(9月24日 松本大学予備学校・中曽根先生)73名が参加した。</li> <li>・学習室は毎日清掃時に机の消毒を行っている。平均して、朝は15人、放課後は25人前後が利用している。</li> <li>・人権平和学習は11月に明星学園の宮下先生を招いて実施した。</li> <li>・その他についてはほぼ計画通りに実施してきている。</li> </ul>
	5,6	小論文指導	
	5,6,7	補習計画	
	5,6	総合的な探究の時間	
	2,3	人権平和学習(10月)	
	6,7	学習室・自習室の環境整備	
	6,7	生徒による授業評価の実施と分析	
6	授業公開・研究授業などの立案・計画		
図書視聴覚	4,9	日常および学校行事での放送協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分担ごとに、着実に計画通り進んでいる。探究学習や進路に関する情報など、必要な時に適切な資料を提供できるよう心掛けている。</li> </ul>
	7,9	図書通信の発行	
	5,9	各学年・係と連携した情報提供	
	6,8	小論文・面接などの資料提供	
生活指導	2,4	安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初事案が2件発生したが、該当生徒を継続して見守り、問題なくここまで来ている。</li> <li>・この2件以後、問題行動はなく『開店休業』状態。</li> <li>・例年、年度当初多発していた自転車の交通事故は激減した。</li> </ul>
	2,4	基本的な生活習慣の確立	
	1,2,9	情報の共有と指導体制の確立	
生徒会指導	1,4	高松92宣言の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高松祭は、公開せず校内祭で実施した。また、感染防止対策を徹底して行った。特に体育館での全体イベントは入場制限をし、各HR教室とオンラインで実施した。</li> <li>・各委員長を含めた役員会を行い、活動状況を互いに把握するとともに積極的に委員会の活動が展開されるよう工夫した。</li> <li>・役員が発足にあたり、いのちの碑の慰霊を全役員で行いあらためて高松92宣言の意義を確認させた。</li> </ul>
	2,9	高松祭などの行事の運営	
	2,9	委員会活動の活発化	
	7,9	班活動の活発化	
教育相談	1,4,7	アンケートによるニーズの把握と問題の発見及び予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悩みアンケートおよび学校環境適応感尺度「アセス」は一定の役割を果たしていると思われる。係会や教科担当者会等を通じて、生徒の情報共有や合理的配慮についての理解を深め、相談力向上事業も活用して生徒・保護者に丁寧に関わり、SC・SSWと連携しつつ遺漏のない支援及び環境整備を図っていきたい。</li> </ul>
	1,4,7	生徒・保護者の支援及び環境整備	
保健衛生	1,4	生徒・職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で課題は多いが、引き続き安全面に配慮しながら、生徒、職員の健康状態を見守っていきたい。</li> </ul>
	2,4	学校安全の徹底	

美化	2,4,9	全校生徒の美化・環境意識の向上	・昨年度より、感染症対策として個人のゴミの持ち帰りに全校で取り組んでいる。今年度は自治会主催の班室清掃をきっかけに、班室のゴミも教室と同じく持ち帰るよう呼び掛けた。今後も持ち帰る意義を理解してもらい、継続につなげたい。
----	-------	-----------------	---

PTA	10	学校と保護者の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の総会は、実施予定で計画を進めたが感染状況を踏まえ直前に中止し、書面での決議とした。各地区懇談会、研修旅行は中止とした。</li> <li>・10月の教育懇談会、学年PTA行事は、感染予防対策を徹底しながら授業公開と合わせて実施できた。</li> </ul>
行政	4	校舎内外の環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染対策として、手洗場の蛇口の自動水栓化、換気徹底のため各教室、各研究室等にサーキュレーターの設置、消毒液の購入等を行い、感染予防に努めた。また、学校施設の修繕、樹木の剪定・伐採等限られた予算の中、環境整備に努めた。</li> <li>・コピー用紙の削減、使用していない教室等の消灯や冷暖房の適切な使用を呼びかけた。</li> <li>・窓口対応や電話対応等、親切・丁寧な対応に努めた。</li> </ul>
	4	エコマネジメント長野への取組推進	
	10	来校者等への親切・丁寧な対応	
1学年	5,6,7	iPadの活用と家庭学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育委員会の指導の下、iPadを全員購入し、各種アンケート調査・週一の英単語テスト・探究活動調査・各授業での資料提示及び課題提出等多岐にわたる分野で、情報ツールとして活用している。コロナ禍での新入生として、感染対策に気を付けつつも、「明るく、元気に」高校生活が送れるように各担当が努力を続けている。学習面では、英単語テストを学習の軸として、各クラスが学習に向けて頑張る雰囲気醸成された。東館の清掃も例年以上の取り組みが見られ、明るく清潔な環境で学習できている。12月には、人権学習としてCAPS長野の講習会も予定している。</li> </ul>
	7,8,9	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	
	3,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	
2学年	4,5,6	家庭学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループクラスルームを利用し、家庭学習の充実指導に取り組んだ。基本的な生活習慣の確立、班活動の両立については、生徒とのこまめな面談を通じ指導を行っている。いじめ・暴力の根絶については、HR活動や授業を通して、その重要性を引き続き理解させたい。家庭連絡を密に行うことで保護者との信頼関係を構築し、協力体制を強めていくことを意識しながら諸々の指導を継続していきたい。</li> </ul>
	6,7,8	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	
	1,8	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	
	9,10	保護者との信頼関係の確立	
3学年	5,8	目標目的を重視した志望の進路実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人、保護者と懇談を丁寧に行い共通認識の下で進路選択をできるよう心掛けた。大学入試制度変更2年目に加え新型コロナへの対応があった昨年度と違い全体的に例年と入試形態を戻した大学も多く、不安要素が多い中、最新情報を入手し着実に進路指導ができるよう留意した。班活動の大会や行事は縮小されながらも実施されたが、練習禁止期間や、引継ぎもなく最上級生の立場になったことなど生徒たちには多くの苦難があり、生徒たちの気持ちに寄り添い目標に向かえるよう配慮して指導した。18歳での選挙権について意識をさせ行使できるよう指導した。最終学年として心身ともに、個々にも集団としてもたくましく成長した姿となるよう指導を継続していきたい。</li> </ul>
	9	社会性・協働性の育成	
	11	生徒保護者と学校の連携	